

議長 結構です。

教育委員 幼児教育は必要という前提で、今の時代は預かり機能も兼ね備えたこども園の形態が理にかなっているのではないかと考えています。そうすることにより分け隔てなく同じ所で幼児教育も受けられるし、必要に応じ保育も受けられることとなりますので、理想ではないかと思えます。

議長 その対応は今の砥部こども園でできています。私の問いかけ方が悪かったと思えますので、改めて申しますと、宮内幼稚園を今後どう捉えるかについてご意見をいただきたいと思えます。

教育委員 議長の説明にもありましたが、幼児教育の機能のみでは今後、宮内幼稚園の利用者はさらに減少することが予測されます。そうすると議長としては、施設を残すかどうか検討されるのではないかとと思えますが、このままだと利用者が減り、継続が厳しいと私も思えます。しかし、そうならないよう幼児教育と預かり機能を確保したうえで、今利用されている方にも説明して今の幼稚園をこども園に振り替えるという考え方もあるのではないかとと思えます。

議長 仮に宮内幼稚園を無くすとした場合は、公立の幼児の受入れ施設が、砥部小校区と麻生小校区にはそれぞれありますが、宮内小校区には無くなってしまふことになり、地区の偏在が問題になってきます。今ご意見でいただいた内容としましては、受け皿として、預かりと教育も確保できる他の施設があれば、宮内幼稚園の閉園もやむを得ないということではよろしいですか。

教育委員 地区の偏在という問題は別ですが、幼稚園として難しくなった時には幼稚園ではなく、預かりも含めた別のものでも良いと思えます。

教育長 来年度のクラス編成はどのようになりますか。

子育て支援課長 担任はそれぞれに配置しますが、人数が少ないため3、4歳児で1クラス、5歳児で1クラスの2クラスとなります。状況によっては一つの教室で合同保育を実施する予定です。

教育長 今後さらに減少するとクラス編成も難しくなってくると思えますが、現場としてもそのような認識をもっていますか。

子育て支援課長 そう認識しています。

教育委員 地域の偏在という問題も考慮して、こども園を砥部地域の真ん中である宮内地区に集約するという考え方もできると思えます。

議長 統合の議論も必要と思えます。砥部こども園も宮内幼稚園も建物としてはかなり老朽化が進んでいますので、この問題も無視することはできません。

教育長 建物の問題もありますが、そもそも保育所、こども園、幼稚園があるなかで、利用者のニーズとしてはどうですか。

教育委員 調査はしていますか？

子育て支援課長 数値としては把握できていませんが、様々な事情により幼稚園離れが進んでいる部分があります。しかしながら、教育を重要視して幼稚園に通わせる保護者の方もおられます。民間の幼稚園でも根強い人気を得ている所もあります。

教育委員 子どもが減少する中で、将来的に施設の統廃合の問題は必要だと思えます。

幼稚園かこども園かどちらかという問題もありますが、個人的には低部幼稚園が低部保育所と統合してこども園になった時に、宮内もこども園にしてあげれば良かったのではないかと思います。仮に幼稚園として残るのであれば、それなりの魅力化が必要だと思います。

教育長 確かに特色ある教育がなければ、幼稚園として運営するのは難しいかもしれません。

教育委員 魅力化を町立幼稚園でどこまでやっていけるか分かりませんが、それがないと存続は難しいと思います。

教育委員 利用者の獲得という点では、教育だけでなく預かりの部分でも個別の魅力化に取り組んでいる民間施設もありますし、利用者も教育か預かりかではなく、個々に魅力を感じる施設を選んでいるケースもあると思います。

議長 民間施設において、相当数の幼稚園やこども園があるなかで、公共の施設で時間やお金を投入して魅力化を図り、民間施設と差別化する必要があるか、またそこまですることに町民の理解が得られるかという問題はあります。

教育委員 宮内幼稚園の魅力化にお金をかけるよりは、こども園としての転換にお金をかける方が有効だと思います。

教育委員 幼稚園として取り組むのであれば、地域性を活かすとか特別な教育に取り組むなど差別化する必要性はあると思います。

教育委員 幼稚園だけでなく小学校も含めて特徴的な教育に取り組むことで魅力化を図るのもいいと思います。

子育て支援課長 宮内地区にある民間の保育施設について、こども園に転換していただくことができれば、宮内幼稚園を無くした際の受け皿になることも可能かと思えます。

議長 もし、それが可能であれば宮内地区の幼児教育のニーズを受け止めることもできると思います。この数年で保育園ニーズが拡大しているのは明らかです。公共でどこまでやるかという問題もある中で、本日いただいた意見も参考に検討し、その内容については随時共有させていただきたいと思います。本日はたくさんの貴重なご意見をいただきありがとうございました。

事務局 続いて、報告事項といたしまして、町教育委員会において教職員の働き方改革や適正な健康管理を推進するため、低部町立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画を策定しましたので、議長に報告いたします。

(計画書の内容説明)

議長 学校行事やボランティアなどを見直すことは大事だと思います。町職員におきましても私が町長就任後に見直して、負担の軽減を行いました。教職員の皆さんの負担軽減は必要だと思いますので、計画をしっかりと進めてください。

事務局 その他になりますが、ご意見はございますか。

教育委員 部活動の地域展開を進めていく中で、今後どのように進んでいくのか、保護者負担の増加などが心配されています。町としてしっかりサポートしていただきたい。

議長

負担の在り方については全国一律に決まっているものではなく、自治体がすべて負担するという事は難しいと考えています。町として具体的にどこまで負担するかは検討していきます。予算に関しては、必要な分は必ず確保することにしておりますし、担当課にも予算要求するよう指示しております。令和8年度は、地域おこし協力隊員を雇用して重点的に取り組むための予算も計上しております。

教育委員
議長

よろしく申し上げます。

本日いただいたご意見を参考に、町立の幼児教育施設の在り方について検討したいと思います。今から議論を深めてまいりたいと思いますので今後ともご協力いただきますようお願いいたします。本日はありがとうございました。

事務局

それでは以上で令和7年度第2回砥部町総合教育会議を終了いたします。